

「ベトナムの最近の動向」

中川 良一

<Covid-19 感染状況>

6月16日執筆時点で、ベトナムでは50日連続でCovid-19新規感染者は発生していません。6月6日時点でカウントされた感染者数の累計は329人、うち、完治者307人、死亡者ゼロです。首都ハノイをはじめ各地では人々の生活が完全に平常に戻っています。ベトナムサッカーリーグの試合も5月23日に再開され、大勢のサッカーファンがサッカー場に押し集め観戦しました。

<慎重な外国人受け入れ>

Covid-19への警戒はすでに過去のものとなりつつあります。当局は感染防止に対し自信を見せていますが、感染を防ぐため、引き続き外国人の受け入れには慎重に対応しています。当面は外資企業の現地法人の管理者・技術者の入国を優先的に認める方針となっています。

ベトナム入国手続きもまだ変則的で、おおむねの流れは次のとおりです。

ステップ1	現地法人から所在地の人民委員会へ入国希望者名簿提出 → 人民委員会から入国管理局に名簿提示
ステップ2	入国管理局は、関係省庁と協議のうえ、入国査証を発給
ステップ3	入国希望者は、在外ベトナム大使館で査証を受け取り
ステップ4	入国希望者は、ベトナム航空会社が手配したフライトでベトナムに渡航
入国後	所定のホテルで14日の隔離(療養)、健康状態のチェックを受ける (Covid-19陰性証明書は必要なし)

多くのビジネス関係者がベトナム入国を希望している中、5月9日、「特別入国」として日本人68名がベトナムに到着し隔離措置を受けました。6月と7月には約2,700人の外国人専門家(※)を受け入れる予定です。外国人の受け入れについての制限は、国内での隔離(療養)施設の確保、入国者の健康フォローアップ体制が十分に整っていないことが背景にあります。また、短期出張者の受け入れについて、ベトナム医療省はガイドラインを作成中であり、今後、外国人の受け入れは徐々に拡大されると思われます。

(※) ベトナムの外国人労働許可における3タイプのうちの一つで、専門知識を有する者。

<日本風温泉施設の開園>

5月27日にベトナム北部のクアンニン省カンファ市(ハノイから車で3時間)で本格的な日本風の温泉施設「YOKO ONSEN QUANG HANH(陽光温泉)」がオープンしました。オープンセレモニーにはフック首相も参加し、盛大に開かれました。



【YOKO ONSEN(陽光温泉)の全景】

観光産業は、ベトナムでのコロナ終息により国内観光客により活発化してきていますが、業界では早期に外国観光客の入国制限の解除が期待されています。

入浴料：大人50万ドン(約2,400円)、子供(身長1m以上)30万ドン(約1,400円)

開発会社：ベトナムの大手不動産 SUN GROUP



【施設入口】



【施設内の温泉】